

基準7 準学士課程の学習・教育の成果

<p>評価の視点</p> <p>7-1 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。</p>	
<p>観点7-1-① 成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 学生の成績（卒業時のGPA値等。）や原級留置の状況、単位修得率（登録授業単位数に対する修得単位数の率。）等、成果を総合的に分析すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇体制の整備状況がわかる資料</p> <p>資料 7-1-1-(1)-01 体制の整備状況がわかる資料 1 出典「組織図」</p> <p>資料 7-1-1-(1)-02 体制の整備状況がわかる資料 2 出典「教育改善システム図」</p>
<p>(2) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価しているか。</p> <p>■把握・評価している</p> <p>□把握・評価していない</p>	<p>資料 7-1-1-(1)-03 体制の整備状況がわかる資料 3 出典「教務委員会規則」</p> <p>資料 7-1-1-(1)-04 体制の整備状況がわかる資料 4 出典「創造教育開発センター規則」</p> <p>資料 7-1-1-(1)-05 体制の整備状況がわかる資料 5 出典「卒業に関する規則（学則）」</p>
<p>(3) (2)の結果から学習・教育の成果が認められるか。</p> <p>■認められる</p> <p>□認められない</p>	<p>資料 7-1-1-(1)-06 体制の整備状況がわかる資料 6 出典「教務に関する申し合わせ事項 第7 進級及び卒業の認定に関する事項」</p> <p>◇成績評価・卒業認定等に関するデータ・資料</p> <p>資料 7-1-1-(2)-01 進級・卒業認定等に関するデータがわかる資料 出典「準学士課程の進級・卒業率データ」</p> <p>◇把握・評価の実施状況がわかる資料</p> <p>資料 7-1-1-(3)-01 学生が卒業時に身につける学力、資質・能力を把握・評価していることがわかる資料 出典「卒業認定会議資料」</p> <p>◆左記(2)及び上記の資料を踏まえて、学習・教育の成果が認められることについて、資料を基に記述する。</p> <p>※卒業時に身に付けるべき学力、資質・能力等は卒業認定</p>

	<p>会議で評価・判定される (資料 7-1-1-(3)-01)。過去 5 年間の卒業率は 98%を上回っており、学習・教育の成果が認められる。卒業時に身に付けるべき学力、資質・能力は学習教育目標で系統付けられた履修すべき全科目の単位を取得することで保証される。</p>
<p>観点 7-1-1-② 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ (1)の体制の整備が、観点 7-1-1-①と同じ体制で実施されている場合には、観点 7-1-1-①と同じ資料となる。</p> <p>○ (2)(3)(4)は、観点 1-1-③で分析している種々の評価結果の一部と同一のものであるため、内容の整合性に留意して分析すること。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>◇体制の整備状況がわかる資料</p> <p>資料 7-1-2-(1)-01 就職先・進学先アンケート及び卒業生・修了生アンケートの実施し、分析していることがわかる資料</p> <p>出典「平成 29 年度創造教育開発センター年次報告書」</p>
<p>(2) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>◇意見聴取の結果に関するデータ・資料</p> <p>資料 7-1-2-(2)-01 学習・教育目標に関する学生の達成度を把握していることがわかる資料</p> <p>出典「学習達成度評価シート」</p> <p>資料 7-1-2-(3)-01 卒業生に対する意見聴取を行っていることがわかる資料</p>
<p>(3) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生（卒業後 5 年程度経った者）に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>出典「平成 29 年度創造教育開発センター年次報告書 pp130-136」</p> <p>資料 7-1-2-(4)-01 就職先・進学先に関する意見聴取を行っていることがわかる資料</p>
<p>(4) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。</p> <p>■行っている</p> <p>□行っていない</p>	<p>出典「平成 29 年度創造教育開発センター年次報告書 pp107-127」</p> <p>◇把握・評価の実施状況がわかる資料</p> <p>（再掲）資料 7-1-2-(3)-01 卒業生に対する意見聴取を行っていることがわかる資料</p>
<p>(5) (2)～(4)の評価結果から学習・教育の成果が認められるか。</p>	<p>出典「平成 29 年度創造教育開発センター年次報告書</p>

<p>■認められる □認められない</p>	<p>pp130-136」 (再掲) 資料 7-1-2-(4)-01 就職先・進学先に関する意見聴取を行っていることがわかる資料 出典「平成 29 年度創造教育開発センター年次報告書 pp107-127」 資料 7-1-2-(4)-02 卒業生・修了生に関するアンケート調査を分析していることがわかる資料 出典「教員間ネットワーク会議議事録」</p> <p>◆左記(2)～(4)及び上記の資料を踏まえて、学習・教育の成果が認められることについて、資料を基に記述する。 ※本校の教育目標に対する教育達成度評価は、3年に1度実施されている。平成29年に実施した結果をまとめたものが資料 7-1-2-(2)-01である。本校卒業生・修了生、受け入れ先の企業・大学に回答を求め、評価は4段階で行われている。本科卒業生の評価は十分に高く、学習・教育の成果が認められる回答が得られている。また、教育達成度に関するアンケートの結果は、教員間ネットワーク会議で議論され、教育の改善に役立てられている (資料 7-1-2-(4)-02)。</p> <p>学生は卒業時に学習教育目標達成度自己点検シートを用いて、達成度評価を行っている (資料 7-1-2-(2)-01)。</p>
<p>観点7-1-③ 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。</p>	
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(法)第122条 (施)第178条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する □満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められるか。</p> <p>■認められる □認められない</p>	<p>◇【別紙様式】卒業生進路実績表 資料 7-1-3-(1)-01 最近5年間の進学率がわかる資料 出典「高専専攻科・大学編入 入学状況表」 資料 7-1-3-(1)-02 最近5年間の就職率がわかる資料 出典「就職状況表」</p>
<p>(2) 学校として把握している就職先や進学先は、各学科の養成しようとする人材像に適したものとなっているか。</p> <p>■なっている</p>	<p>◆就職率・進学率や就職先等から、養成しようとする人材像にかなった成果が得られているかどうかについて、資料を基に記述する。</p>

<p>□なっていない</p>	<p>※進学については、過去 5 年間に於いて希望者全員が進学し、ほとんどが高専専攻科および国公立大学理工系学部に編入学し、本校が養成すべき技術者となる進路に進んでいることから、成果が得られていると判断される（資料 7-1-3-(1)-01）。</p> <p>※就職については、平成 30 年度の求人倍率が 40 倍以上と非常に高く、卒業生が企業から高い評価を得ていることがわかる。過去 5 年間に於いて希望者の就職率は 99%以上を確保している。就職先は製造業、インフラ、情報通信業、建設業および官公庁が多数を占めており、本校が養成すべき技術者となる進路に進んでいることから、成果が得られていると判断される（資料 7-1-3-(1)-02）。</p>
<p>7-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	

基準 7

優れた点
<p>該当なし</p>
改善を要する点
<p>該当なし</p>